北のわらしべ

《初春号》 令和 3 年 1 月 15 日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)
連絡先；〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35
℡　011-776-7981［法人本部］

新年のご挨拶

理事長　川本 明良

あけましておめでとうございます

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます
本年もご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます

2021 年 1 月

昨年はコロナ騒動に明け暮れた 1 年でした。電話やメール、Web 会議などでの挨拶は「コロナ感染の話題」で始まり「お互いコロナ感染に気をつけましょう」と言って締めくくるのが日常になっています。感染の第 3 波といわれる感染者の増加が顕著になり収束の兆しすら見えない中、感染による死亡者も増加しているようです。すでに 2021 年東京オリンピックの開催を危ぶむ声も大きくなっているようです。また報道では、毎日の新規感染者の増減が強調されて、その数に一喜一憂し、マスコミに不安を煽られているようです。

(わらしべ会の冬)

このようにコロナ感染について考えない日がない中、本当に久しぶりにとても懐かしく心地よい出来事がありました。児童書「モモ」に関連した最近のエピソードです。（本紙 1 頁下段に顛末記載）心地よいこととは、故人となった法人創設者の足跡から、人の「つながり」や「時間」の大切さを感じたことです。多くの方に親しまれる図書ですが、この内容がコロナ感染の恐怖に直面する人々の状況を比喩的に表しているように感じます。

皆さんご存知のことと存じますが『モモは不思議な魅力にあふれた主人公の名前です。ある街に灰色の男たちが現れ、人々から”時間”を奪い始めます。時間を奪われた人々は、ギスギスし始め、常に時間に追われるようになります。みんなの生活が大きく変わる中、モモは個性的な友だちと、灰色の男たちから時間を返すよう奮闘します。やがてモモの活躍で人々は時間を取り戻すことができます』このお話を振り返ると、コロナ禍で私たちが失ったものの一つが「時間」であると感じさせられます。友人や家族、知人と過ごす時間、興味あることに集中する時間、新しい出会い、知識や情報を得る機会、人と共有できる時間、これまでの約 1 年はこれら多くの「時間」が失われたようです。さらにコロナ感染の環境で、やはり私たちは不安から時間に追われ、これからも大切な「時間」が奪われ続けることになりそうです。個々が感染予防としてできることは、すでに限界といわれています。コロナ関連の社会問題も顕著になっていますから「モモ」に代わるリーダーに期待したいところですが、具体的に台湾のオードリー・タン氏やニュージーランドのアーダーン首相のような牽引者やリーダーが日本もいると期待しています。

すでに先を見通して「ポスト・コロナの時代になっても元の生活には戻らない」という意見もあるようですが、このような状況で多くの方が「人のつながり」や「絆」を大切にし続け、時間を失わない努力を続けているようです。わらしべ会でも直接的な人とのやり取りや交流を制限する中、多くの方から電話やメールを頂戴します。Web 飲み会も開催されるようになってきました。現在は直接、会ってお茶を飲んだりお話しすること、大勢が集まることは難しい状況ですが、異なる方法で時間を共有し、失われた時間を取り戻したいと思います。2021 年にポスト・コロナの時代が訪れ、私たちみんなが時間を大切にできる日がくることを祈ります。

「モモ」と手紙

昨年末、根室厚床中学校の由佐教頭様よりご連絡を頂戴しました。電話の内容は厚床中学校の図書の 1 冊に、わらしべ会創設者村井正直先生にあてた手紙がはさまれているという連絡でした。図書はミヒャエル・エンデの「モモ」そして手紙の差出人は「モモ」翻訳者の大島かおり氏であるという内容でした。教頭様にご無理をお願いして、この本とお手紙を郵送していただきました。どの様な経緯で、この本と手紙が大滝わらしべ園から遠く離れた道東の厚床中学校にたどり着いたのか？想像するしかありませんが、亡くなった法人創設者村井正直先生の生前のお姿を思い浮かべる機会となりました。ご支援いただきました由佐琢朗教頭先生に感謝申し上げます。

(お送りいただいた「モモ」)

大滝だより

大滝わらしべ園
〒052-0313
伊達市大滝区大成町１０
℡　0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail　waras@ootaki.tv

「アドベントカレンダー」と楽しいクリスマス会

大滝わらしべ園は 12 月 22 日に「クリスマス会」を開催しました。今年の新しい試みとして行事の 1 週間前から毎日“なにか一つ”日々の生活では、なかなか実現できない遊び・体験等を提供することとしました。いわゆる「アドベントカレンダー（クリスマスまでの日数を数えるために使用される、窓を毎日一つずつ開けるカレンダー）」のような形でクリスマス会の当日をむかえるという企画です。提供した内容は、例えば「屋内に雪を運んで雪遊び」、「サンタのコスプレで記念撮影」、おやつの時間に「ミスタードーナツを食べる」、入浴の際に「様々な香りの入浴剤を入れる」、食事や入浴中に「クリスマスソングを流す」など利用者さんの要望や職員の発想・工夫があふれた内容でした。冬を実感できる内容も多く、どの取り組みもとても好評でした。

クリスマス会の当日は人気の映画鑑賞からスタートしました。昼食にはみんなの大好きなお寿司を堪能しました。午後から 1 人 1 つ「蒸しケーキ」を作り、これも大成功！おやつの時間においしく頂きました。サンタに扮した職員（サンタ仮装の似合う職員？）が馬に乗って登場し、大いに盛り上がり、大喝さいを浴びました。プレゼントを受け取ると、皆さん満面の笑みで大喜び！2020 年、最後となった行事「大滝わらしべ・楽しいクリクマス会」で一年を締めることができました。

（いろんな活動でアドベントカレンダー）

この人紹介／大高美香（おおたかみか）さん

誕生日：12 月 30 日
星座：いて座
趣味：コーヒーを飲むこと
特技：腹筋運動
普段の様子：ADL はほぼ自立しています。その為、日々の生活や身の回りのことはほとんどご自身でしています。職員が大好き！特に担当職員のことがいつも気になります。毎日の腹筋運動を日課としています。この運度を終えると、おいしそうにコーヒーをを飲むことも日課になっています。周りの小さい変化にもすぐに気付くことが多く、いつも周りに注意を払っていることが分かります。その指摘に職員が驚かされる事も度々です。

今後の予定

1；「お菓子作り」（1−2 月/開催日未定）お菓子作りが得意な職員の指導のもと、お菓子作りに取り組みます。皆さんお菓子は大好き！どんな「バレンタイチョコレート」が出来上がるでしょうか？お楽しみに！

2；「誕生会」（2 月/開催日未定）いくつになっても楽しみな誕生日、お誕生日をむかえる利用者さんの嬉しそうな表情が目に浮かびます。

3；「ひなまつり」雛人形の準備もバッチリです。ひな祭りの歌を皆で歌います。

4：「外出」残念ながら 2021 年も外出の制限が必要と考えています。職員の工夫で、園内行事や日常生活の充実に力を入れて、外出に代わる楽しい行事を企画します。

浦河だより

浦河わらしべ園

〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
℡　0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail　urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

コロナ感染対応と特別外出

毎年恒例となった秋の「日帰り特別外出」を実施しました。外出先は浦河町内や新ひだか町、えりも町や苫小牧市、帯広市など、利用者さんの体調や体力考慮の上、買い物や食事、希望する場所の訪問など、思い思いのことをしていただきました。今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を慎重に検討しながらの外出となりました。

お寿司バイキング&クリスマス

厨房スタッフの皆さんによる「寿司バイキング」が１１月１１日に行われました。毎回好評の寿司ネタ、マグロやサーモン、エビや納豆巻き、太巻き、いくらの軍艦巻きに加えて、今年は変わり種としてチャーシューなど豊富なメニューとなり皆さん大満足。外出の機会が減っている中、大好きなお寿司を思いっきり頬張っていました。

例年、12 月 12 日は浦河わらしべ園もちつき大会でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、利用者さんと職員でクリスマス会を開催しました。クリスマス会の美しい飾りつけは、利用者の皆さんと職員が協力して準備しました。

毎年恒例の「もちつき」ができないことを残念と感じる方も多かったようですが、いつもとは違ったクリスマス向けの食事の他、「浦河わらしべ園の 10 年間」スライドショー、職員によるハンドベルクリスマスメドレーなどいつもとは違った冬の行事を実施して楽しんでいただきました。

年末・年始

大晦日は「年忘れ飲酒の日」の日です。NHK 紅白歌合戦を見ながらみんなでお酒を飲みました。一年を振り返り、行事や出来事を語り合って過ごしました。新しい年をむかえた 1 月 1 日には絵馬を作成して、わらしべ神社に奉納しました。年始に今年の抱負を絵馬に刻むことで「新しい年をむかえた」ことや「2021 年を有意義な年にしたい」という気持ちが大きくなりました。お正月気分が盛り上がる中、目隠し「福笑い」を 1 月 3 日に実施しました。みんなで初笑いとなりました。

今後の予定

1 月 18 日には「新年会」を実施します。昨年まではレストラン貸し切りで新年会を開催しましたが、今年はコロナ感染のリスクを避ける目的で、施設内開催とします。いつもと違う状況ですが、皆で楽しめる新年会を目指して、職員は準備しています。2 月 24 日には「寿司バイキング」開催予定です。寿司ネタを検討中です。3 月末には、毎年恒例の「健康祈願祭」があり、1 年の振り返りができるよう、これからの 1 年が元気で笑いのあるものになれるように健康祈願の予定です。

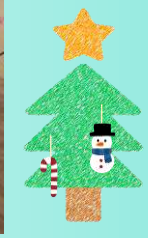
（お正月も感染症対策を心がけています！）

札幌わらしべ園
東区・厚別事業所

東区事業所
〒065-0042
札幌市東区本町 2 条 6 丁目 4-1
TEL　011-783-0606(1 階)
　　011-790-8130(2 階)
FAX 011-790-6572(共通)
Mail　sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1 階)
　　Whshuurou01@yahoo.co.jp(2 階)

厚別事業所
〒004-0062
札幌市厚別区厚別西 2 条 2 丁目 1-23
TEL　011-376-0106
FAX 011-376-0140
Mail sawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

たこ焼きパーティー



10 月ある日、たこ焼き器を東区事業所に持ち込み「たこ焼きパーティー」を開催しました。事業所 1 階(1 グループ)と 2 階(2 グループ)の合同の活動です。もちろん具にはタコとネギなどの定番材料を用意しました。たこ焼きといえば焼けた、たこ焼きを串でクルクル回す作業が必要です。実はこの作業が上手い利用者さんがいるのです。この日も、美味しいたこ焼きが完成しました。熱々のたこ焼きにソースをかけてをみんなで頂きました。(ミニ情報／たこ焼きは昭和初期に大阪「会津屋」ではじまったそうです。)

クリスマス会

年末最後の行事として、今年も「クリスマス会」を東区事業所グループ合同で開催しました。ゲームやカラオケなど、とても楽しい 1 日になりました。特にカラオケでは流行の歌？を熱唱する利用者さんもいて、コロナ自粛のストレスを吹き飛ばす元気な歌声が事業所に響きました。昼食はクリスマス特性オードブル！クリスマスには是非、食べたいチキンもあり、みんな大満足でした。

今後の予定

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動の制限が続く中、「感染対策」と「充実した日中活動」を両立させる為に日々の工夫が求められています。どうしても事業所内での行事が多くなってしまう為、ハロウィンやクリスマス会は利用者の皆さんと一緒に企画し、希望の実現に努めました。利用者さんのアイデアで、これまでとは違った面白い行事が実施できたと感じています。「今、取り組むべき支援について」考え続けることで、活動の充実に繋げていきたいと思います。

ハロウィンパーティー

ハロウィンパーティー開催や仮装が一般的になってきました。(今年は何処も縮小開催ですが)厚別事業所では 10 月末に「コロナに負けるな 10 月末にハロウィンパーティー」を開催しました。みんなで仮装して「トリックオアトリート!」さてさてどんな仮装だったかは…写真をご覧下さい。この日は利用者の皆さん調理実習も実施して充実の一日となりました。

クリスマス会

年末の恒例行事「クリスマス会」を 12 月 23 日に行いました。歌やゲーム、ビンゴ大会はクリスマス会定番の取り組みですが、この日の厚別事業所は行事と合わせて「ピザづくり」にも取り組みました。好みの具材を載せてオーブンで焼き上げます。チーズの焼けるこうばしい香りが事業所にあふれ、とても印象に残るクリスマス会でした。

年賀状づくりに挑戦

お正月の楽しみの一つに「年賀状」があります。厚別事業所の年末の活動として、ご家族に宛てた年賀状を作成しました。厚別事業所では日々の活動で、芸術活動に取り組んでいます。墨汁を使った「書」はまさに芸術！ここで一工夫、この作品を写真にとって年賀状に貼り付けました。ご家族もきっと喜ばれることでしょう。

散歩・外出

残念なことに、感染症拡大防止の視点から、外部行事・外出は中止しています。ずっと事業所の中というのも残念ということで、時々、近くの公園や駅に散歩に出かけています。2021 年にはコロナ感染が収束し、外出できるようになることを願っています。

札幌わらしべ園
苗穂事業所

苗穂事業所
〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35
℡　011-776-7981
FAX 011-776-7982
Mail Mail　naebojimu@hotmail.com

クリスマス会の開催

毎年恒例となった「苗穂事業所クリスマス会」を今年も開催しました。利用者の皆さんによるダンスや手話、紙芝居、マジックなどを出し物として披露して頂きました。実はこの出し物は日ごろの活動の延長です。苗穂事業所は生活関連の学習や運動、余暇活動や音楽・芸術などを中心に「学習」や「訓練」を基本テーマとして、日々の活動に取り組んでいます。そのため、クリスマス会で発表することは活動の大きな「動機づけ」となります。クリスマス会当日に向けて、1 か月前からさらに集中して出し物の練習を積み重ねました。利用者さんの状態や特性から、この「集中」や「継続」はとても大切な視点です。

当日は日頃の活動や練習の成果が大きく、得意気な表情を浮かべる方や大きな声を出す方など大盛り上がりの行事になりました。最後にサンタさんからプレゼントを貰い、皆が嬉しそうな様子で受け取っていました。コロナウイルス感染対策に配慮しながらの行事ですから、地域の皆さんとの交流や外部の方への披露はできませんが、ポスト・コロナの時代にむけて、日々の活動を大切にすることで利用者さんに充実した時間を過ごしてもらうよう努めていきたいと思います。

（コントで大盛り上がり♪）

（みんなで仮装して「ハイ、チーズ！」）

苗穂事業所のハロウィン

苗穂事業所のハロウィンでは、有名なテレビ番組「スカッとジャパン」をコント風に再現し、利用者の皆さんに楽しんで頂きました。職員の名演技に涙を流して笑って下さった利用者さんもおり、とても盛り上がりました。

コロナ禍ですので盛大に行うことはできませんが、せめてもということでハロウィンにちなんだクイズやミニゲームを行ないました。ハロウィンなので、正解した方はお菓子やジュースを獲得できるというルールを設けました。正解を重ねて袋の中にお菓子やジュースがどんどん増えていくと、利用者の皆さんもとても嬉しそうな表情を浮かべられていたのが印象的でした。

事業所内もハロウィンカラーの装飾やカボチャのお化けの置物を置くなどハロウィン一色の飾りつけを行ないました。そして、ハロウィンムードもばっちりの中、最後にはちょっとした仮装グッズを皆さんで身につけて記念撮影をしました。獲得したお菓子を掲げながら素敵な笑顔で「ハイ、チーズ！」思い出に残る、とても素敵なハロウィンを過ごすことができました。

ひがしく川柳

生活介護の一環として作成しました。

徳光 みどり 作

ハロウィンで 仮装大会 化け屋敷
雪ん子の ダンスきらめく 冬の朝

クローズアップこの活動

わらしべ会が学ぶコンダクティブ教育について

Q：コンダクティブ教育はどこで始まり、誰が考案したのですか？

A：コンダクティブ教育はハンガリーではじまり、ヨーロッパを中心に世界中に広まりました。創設者は医師／教育者のペトゥ・アンドラーシュ博士（右の写真）です。

Q：コンダクティブ教育の正式な名称がありますか？

A：英語圏では「コンダクティブ・エドゥケーション（CE と訳します）」ハンガリー語も同様に「コンダクティブ・ネベェリーシュ（教育）」という表現を用います。また創設者の名前から「ペトゥ法」「ペトゥ・システム」という表現もあります。

Q:この支援法を実施する支援者は誰ですか？

A:実践者は「コンダクター」と名付けられた支援法や運動障害を学んだ教育者です。ブダペストの大学で養成が始まりましたが、今ではイギリスの大学にも養成課程があります。その他、資格を取得したコンダクターが世界中で活躍しています。

Q:わらしべ会は、大阪の法人創設以来、この支援法に取り組んできたそうですが、わらしべ会以外でこの支援法に取り組む所がありますか？

A:わらしべ会法人創設者の村井正直博士がこの支援法のすばらしさを認め、ブダペストの養成大学／研究所との関係を構築し、わらしべ職員を派遣してきました。日本には少数のコンダクターがいますが、わらしべ会職員か元わらしべ会職員です。日本でこの支援法に取り組むのは、わらしべ会と支援法を学んだ有資格の元職員が中心です。但し、現在はイギリスで資格取得した方が数名いると聞いています。

Q:現在もブダペストの支援法の実践者養成機関は機能・継続していますか？

A:ブダペストの養成大学は、現在、センメルワイス医科大学の 1 学科となって①コンダクターの養成 ②運動障害児（者）の支援 ③コンダクティブ教育の研究に継続して取り組んでいます。

Q:法人創設者村井正直博士はこの支援法を実現の為、努力されたのですね？

A:当時の様子はこれまでの「北のわらしべ」でご紹介してきました。法人 HP に過去の機関誌を公開していますので、是非、ご確認下さい。

グループホーム　シェアハウス　通信

🏠シェアハウス🏠

一人暮らしの感想

わらしべ会のホームヘルプサービスを利用しながら一人暮らしをする奥田要様から今の生活についてお話を伺いました。

・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・

（編集部）奥田さんはいつからシェアハウスで暮らしているのですか？日中の事業所が無いときはどのように過ごしていますか？

（奥田氏）平成 25 年からシェアハウスで生活しています。休日は好きなラジオ番組や音楽を聴いて過ごしています。

（編集部）シェアハウスの生活で印象に残っていることがありますか？

（奥田氏）ここで暮らし始めて、一番の思い出はベンチャーズのライブに行ったことです。コロナが落ち着いたら、またベンチャーズのライブに行きたいです。

（編集部）シェアハウスの暮らしで楽しみにしていることがありますか？

（奥田氏）シェアハウスでの生活で特に嬉しいことは、食事メニューが豊富なことです。私の好きな料理を調理してくれます。

ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・

しっかり者でやさしい奥田さんですから、今後もシェアハウスでの生活を豊かで楽しいものにしていくことと思います。

🏠グループホーム🏠

こだわりの食事メニュー

5 年ほど前からグループホームで支援員として勤められている近藤利恵さんに、夕食調理時のこだわりや利用者さんの様子についてお話を伺いました。

・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・

（編集部）利用者さんはどんな食事メニューを好まれますか？

（近藤氏）肉料理全般を好まれますが、全体的に好き嫌いなく食べていただいています。

（編集部）調理をされる際、意識している事や気を付けていることはありますか？

（近藤氏）食材注文時は、なるべく安くて良いものを頼むようにしています。注文から日数が立ち、食材が少なくなってくると臨機応変にアレンジしながらの調理を心がけています。最近はダイエット食にも気を付けています。

ペトゥ椅子の紹介／第２回

わらしべ会にあり、ハンガリーの支援法「コンダクティブ教育」で用いられるペトゥ椅子を「北のわらしべ第８号」で紹介しました。今回はこのペトゥ椅子活用の例を写真でご紹介します。この椅子はコンダクティブ教育創設者ペトゥ・アンドラーシュ博士が考案した椅子です。木でできたシンプルな形ですが、背もたれ部は握りやすい太さの数本の桟（サン）になっています。もちろん家具としての椅子が原型ですが、運動障がいのある人の姿勢保持や姿勢変換などの学習にも用います。様々な生活場面で活用ができるよう設計されていますが、”椅子”という生活用具を用いていることが重要なポイントです。

1）椅子として利用

文字どおり、座れる椅子として活用することが基本です。

2）立ち上がり動作

立ち上がり、背もたれの棒を握ることで動作はスムーズです。

3）立位で活用

椅子の桟（さん）を握ることで上肢が伸び立位が安定します。

4）立位／運動課題

立位姿勢で上肢の運動課題／下肢に負荷をかけることも練習できます。

5）立位／運動課題

立位姿勢で下肢の運動課題／桟を握り安定した立位姿勢がとれます。

6）歩行／椅子使用

椅子を押し歩行／姿勢を保持して体重の移動も、し易くなります。

*撮影協力/モデル；羽田朝美さん・新居千春さん・山田綾子さん

ハンガリーのコロナ情勢

12 月中旬、ブダペストの知人たちに連絡を取り、ハンガリーのコロナ感染について尋ねました。3 月に日本の大学生がホテルで発熱したことから、いよいよ感染者入国？と、大騒動になりました。数名の感染確認から感染がはじまり、学校が始まる 9 月以降、急激に増加、現在、30 万人の感染者が発生したそうです。また感染による死亡者は 6000 人にのぼるとのことです。この数は同時期日本の２倍以上です。ハンガリーは人口 980 万人程ですから、感染者や死亡者の数が如何に多いかを、ご理解頂けると思います。コロナ感染も怖いことですが、コロナ感染を利用して民族主義的と評されるオルバン政権が、コロナ感染対策の「非常事態法／6 月撤廃」を制定し強権的政治をすすめ、リベラル派を中心とした人々と対立、国内の分断が進んでいることも厳しい現実だとのことです。

新卒向採用動画の制作

わらしべ会はリクルート始め、様々な機関や媒体を用いて人材確保に向けて採用活動を続けています。１１月末にリクルートキャリア／新卒向けサイトで活用する「採用動画」の撮影・構成を企業「エッセンシャル」にお願いしました。

わらしべ会や福祉の仕事が伝わることを願っています。法人スタッフ代表や浦河わらしべ園職員の呼びかけ動画など、とてもおもしろい内容に仕上げてもらいました。

（動画の撮影風景）

わらしべ会(北海道)ホームページ URL はこちらです。ぜひチェックしてみてください(^^)/
https://www.warashibe-hokkaido.net　または「わらしべ会　北海道」で検索してください！

お　知　ら　せ

❀ ありがとうございました ❀

順不同にてご紹介

ご寄附・ご寄贈頂きました。

高橋 孝次　様　　小寺　雅子　様　　女池　好子　様
谷口 貢　様　　村井　榮　様　　日高建設協会　様
室蘭建設業協会　様　㈱セブンイレブン・ジャパン　様

皆様のご支援に感謝申し上げます。

タッピー体操／介護予防体操 休止のお知らせ

春に休止の後、9 月から再開した「タッピー体操 in 札幌わらしべ園」ですが、札幌での新型コロナウイルス感染拡大が終息していないことを鑑みて、休止しています。大変残念ですが、ご理解をお願いします。現在の所、再開は未定です。

新年のご挨拶を北のわらしべで申し上げます。

昨年まで社会福祉法人わらしべ会・法人施設より「年賀状」で新年のご挨拶を申し上げて参りましたが、本年より当機関紙「北のわらしべ」にて新年のご挨拶を申し上げることと致しました。
ご理解の程、お願い申し上げます。

＊行　事　表＊

	大　滝		浦　河		札　幌		法　人	
1 月	未定	お菓子作り	18 日	新年会	12 日	新年会(苗穂)		
					2 週に 1 回	調理実習(厚別)		
					4・9・16・23 日 土曜営業日			
2 月	未定	誕生会	24 日	寿司バイキング	2 日 3 日	節分会(苗穂) 節分(厚別)	2 日	法人運営者会議
					17 日	調理実習(厚別)	未定	会計指導
					16 ～ 18 日	あらかるあーと出展		
3 月	未定	ひな祭り	未定	健康祈願祭	未定	お楽しみ会(苗穂)	未定	監事監査
					3 日	雛祭り(厚別)	未定	理事会
					17 日	調理実習(厚別)	未定	評議委員会
4 月	未定		未定		未定	花見会(苗穂)	1 日	入社式
					2 週に 1 回	調理実習(厚別)	6 日	法人運営者会議

編集後記

短く美しい紅葉の季節が終わり、北海道は年末寒波と雪ですっかり冬景色となりました。去年は社会の変化が激しい 1 年でした。アメリカ大統領選挙や菅内閣発足、オリンピックは延期となりました。倒産や失業、経済低迷を危惧する意見も溢れています。

(札幌の美しい秋)

今年中にコロナ感染の新しい展開が進み、明るい年になることをお祈りします。寒い日が続きます。皆様、どうぞご自愛下さい。

編集職員一同